

# 高田短期大学通信

高田短期大学通信 第55号 2020年(令和2年)7月10日 発行 高田短期大学・編集 図書委員会

## 今、これから

学長 梅林 久高



新緑の美しく眩い季節となり、その青葉の濃淡の変化に生命の躍動を感じます。しかし、今年には新型コロナウイルス感染症拡大阻止のため、不要不急の外出自粛と「三密」の行動を回避する要望が強く求められています。

世界中を不安と恐怖に陥れ終息の目途が立ちません。しかも、コロナショックは経済活動や社会生活や学校教育現場などを直撃し、甚大な負の影響をもたらしています。

世界中で数十万人の人々が犠牲となっています。人の死に無感覚になつてはいけません。その深い悲しみを憶う時、奈良時代に日本に戒律の教えを伝えるため何度も苦難を乗り越え、失明した鑑真和尚を偲んで松尾芭蕉が詠んだ「若葉して御目の雫

ぬぐはばや」の句が響いてきます。

新学期にあたり新入生の皆様は夢や希望をもって学生生活を楽しみにしていた矢先に休校となり、再開を一日千秋の思いで望んでいることでしょうか。二年生の皆様は、さあ！就活に実習にと全開モードの状況から、不安と焦りが押し寄せてきているのではないのでしょうか。教職員一同、学生の皆様の学力の質の確保や出口の在り方をしっかりと支援し、さらにメンタル的にもいかに寄り添っていくべきかを国などのガイドライン等を参考にしつつ最善を尽くすだけと覚悟しています。

目下、休校が延長される中、本学ではオンラインを利用した遠隔授業を展開しています。マナバを活用したオンデマンド型で双方向性の授業です。勿論、Gスリートも利用。従来の対面授業の展開が不可ですので、学科教科の特性を十全に充足できるものではありません。又、種々な環境により学生に教育的格差が発生しないように配慮し進めてい

ます。継続時期は今日的状況では不透明ですが学生達の向学心や探究・研究のモチベーション維持のための効果の一助を目指していきます。

今回の感染症拡大と流行は、人間の弱さ、脆さ、無力さを強く感じさせられています。国難ともいえるこの局面状況から多くの人々はオンラインをフル活用して情報流通の迅速化をはかり共有しつつ「ピンチをチャンスに」と展開しようと行動をしています。豊かな物質的社会的恩恵や高度に発達した科学技術の陥穽を強く感じ、「無力と空しさ」を克服しようとしています。有史以来、人類は戦争・自然災害・疫病などを克服して繁栄してきましたので、必ず終息に向かうと確信します。今、私たちにできる道として自己の生命と人の命を守る行動を主体的・積極的に実行・実践して乗り越えようとしています。そこには忍耐力と寛容な精神が必須です。私もそういう自分であり続けたいものです。

(令和二年五月五日記)

## 目次

学長のことば	1
学科紹介	
・子ども学科	2
・キャリア育成学科	3
・オフィスワークコース	
・介護福祉コース	4
学生生活・学生生活支援	
・キャリア支援センター、学生相談室、	
外国人留學生支援室	5
・学生自治会	6
・部活動等の紹介	
(女子サッカー部、吹奏楽部、聖歌隊、図書館マイト)	7
地域連携施設等	
・仏教教育研究センター、	
育児文化研究センター、	
図書館	8
・キャリア研究センター、	
介護福祉研究センター、	
高大教育交流事業	9
退任のあいさつ、人事、	
着任、同窓会の近況	10
卒業生からのメッセージ、	
貸借対照表	11
就職状況、編集後記	12



子ども学科



子ども学科長  
福西 朋子

令和二年度が暦の上では始まりました。しかし、昨年度末ごろからのコロナウイルスによる翻弄劇は続行中で子ども学科としての見通しは未だ不透明なままです。いつもならば学生さんの元気な姿と笑い声・歌声が響くキャンパスが静かです。学科科目の特性として対面での授業、特に実践・実技を含む授業が必須であるにも関わらずそれが難しい、実習も滞りなく実施できるのかと課題を挙げればきりがありません。しかしながら、この難局を乗り越えるための知恵・アイデアは人間同士が頭を絞れば出てくるものだと思惑していません。予測困難な時代を生き抜く力を今こそ身に着ける時、今まで無かったものを新しく創り出す時と学生とも共有し乗り切りたい、そして、それが保育者としてプラスになる経験となれば言うことなしです。

活動報告

「保育・教職実践演習(幼稚園)」科目の取組み

本科目は、保育者養成課程における総まとめの科目です。二年間の履修科目の学びを振り返る目的の履修カルテ作成、実習経験から保育職として求められることを考えるグループ討議、そして保育の場におけるエピソード記録を目的とした見学実習とその記録内容のグループ討議、その討議の発表準備と発表会、という流れで取り組んでいます。また二年前からは、主に短大と連携協定を結んでいる市から講師を迎え特別授業を実施しています。昨年度は、認定こども園「保幼小連携」要支援児と保護者対応「子ども主体」をテーマに



子ども学科二年  
藤田 真歩

二年生になって

入学して一年が経ちました。高校時とは違い、専門的な授業が始まり、実習もあって、最初は不安なことばかりでした。しかし今、一年間で様々なことを学び、体験していく中で、具体的な保育者像を持つことができ、知識を深めることの楽しさを感じています。

開講し、学生は関心あるテーマの授業を受講しました。子どもや保育の場にかかわる経験の充実

保育者養成教育は学内での学習と学外での実習が学びの両輪であることは言うまでもありませんが、特に本学科では養成課程の実習に加え、子どもや親子とかわかること、実習以外にも保育の場を知る・触れることを重視しています。そのため本学育児文化研究センター主催の「おやこひろばたかたん」の授業での活用、学生ボランティアとしての参加、また地域の子育て支援を目的とした活動への参画・参加を昨年度も積極的に行いました。また、一学年夏季休暇中には、「自主見学」と称し、保育の場への参加ができる体制を作り実施しました。

今年は就職活動が始まります。まだまだこれから学ぶべきことは多くあります。しっかりと勉強したり、実習で見つけた課題を改善したりして、思い描く保育者になれるよう頑張ります。見えないウイルスとの戦いもあります。保育者になりたいという気持ちと、身に付けた知識を信じ、慎重に活動していきたくります。今やるべきことをしっかりと行い、残りの学生生活も有意義に過ごしていきたいです。



現代青年の日常の活動に

対する評価

子ども学科 山口 昌澄

日本青年心理学会研究委員会では、二〇一五年より「現代青年を取り巻く時代・文化」という長期テーマで様々な論考や調査に取り組みしました。今回は、共同研究者として関わった研究を紹介いたします。その研究は、学業や友達づきあいといった日常の活動が青年にとってどのような意味をもち、またどのような精神的・発達の側面と関連するかアン

高田短期大学に入学して



子ども学科一年  
稲尾 暎穂

令和という新しい時代になり初めて迎える春に、新しい仲間とともに高田短期大学へ入学することができとても嬉しく思います。しかし残念ながら現在、新型コロナウイルスの影響でなかなか普通の学校生活を送ることが難しいですが、少しでも早い収束を願い、友達や先生と充実した学校生活を送り

ケート調査を通じて検討したものです。全国十二の大学に通う、五五名の大学生を対象に行われ、データ分析の結果、日常活動のスケジューリングが上手できていないという感覚が社会全般への安定感や自己効力感など精神的・発達の健康と関連することが示唆されました。一方で周囲から取り残される不安をもちながら活動に励んでいる彼らの姿も浮かび上がってきました。

研究を通して現代青年の日常的な感覚にふれることは、とても興味深いことです。私自身の今後の教育活動や学生(青年)理解にも役立てたいと思います。

またこれから授業や実習が始まり今まで専門的に学んだことのない保育や幼児教育について深くたくさん学べる機会が増えます。実際にいくつもの現場に行って自分自身で体験できることに、すごく興味があり楽しみにしています。今まで体験したことのない新しいことを経験することで得られるものがたくさんあるので、同じ夢を持った仲間と一緒にこれから二年間将来に向けて頑張っていきたいです。

# キャリア 育成学科 オフィスワークコース



ラこそ主体的な学びを



キャリア育成学科  
オフィスワークコース長  
野呂 健一

新型コロナウイルス感染拡大阻止のため全国に「緊急事態宣言」が発出され、本学も休校措置を取るという異例の状況での年度始まりとなりました。

一年生は、入学式やオリエンテーションも短縮して行うことになり、短大での学生生活について大きな不安を抱えたことでしょうか。二年生の中には、合同説明会が軒並み中止になり、就職活動をどのように進めていくか途方に暮れた人もいることでしょう。

こんな状況の中でも、今自分にできることは何かを考え、取り組んできた人は、「主体的に考え行動する力」を身につけることができたと思います。あれこれ悩むよりも、今何ができるかを考え、そこに全力を尽くすという姿勢は今後の人生でも求められることではないでしょうか。

## 活動報告

### 学内業界研究セミナー

様々な業界と業務内容について学び、今後の就職活動に生かすことを目的に、一年生を対象とした学内業界研究セミナーが初めて開催されました。当日は製造業、複合サービス業、金融業、運輸業、自動車販売業、医療に携わる六つの企業をお招きし、二部構成で行われました。まず、全体に向けて各企業からそれぞれの特徴などについてお話を伺いました。その後、

企業ごとにブースに分かれ、学生はあらかじめ希望した企業からより具体的な説明を受けました。その後、



### 二年生になって



キャリア育成学科  
オフィスワークコース二年  
高野 光希

入学して二年目に入りました。この一年間を振り返ると、ゼミでのボランティアや社会体験実習など多くの経験を積み、充実した日々を過ごすことができたと思います。

その中でも私は資格取得に力を入れ、勉学に励みました。資格を取得できると自分の成長が分

りました。このセミナーを通して学生は視野を広げられただけでなく、高い目的意識をもって今後の就職活動に取り組むための重要な第一歩を踏み出すことができました。

### 卒業研究レポート発表会

卒業研究レポートの執筆は、二年生にとって短大での学びを締めくくる大切な活動です。それぞれゼミナールの特色を生かしながら、各自がテーマ設定から結果まで試行錯誤を重ね、レポートにまとめました。発表会では、各ゼミから代表として選ばれた六名が、コースの全学生や教職員の前でプレゼンテーションを行いました。



## 研究余滴

### 大学教育の評価研究

鷲尾 敦

私を含めて四人のメンバーからなる本学の高等教育研究会は、二〇一六年に、学長からのミッション二つのポリシーと学修成果の可視化についての検討せよ」を受け発足した。研究会では、介護実習における評価の課題について議論が進み、ミッションとは別で研究会の主体的な研究テーマとなった。科研費にも応募し、二回目の挑戦で採択され、研究をさらに進めることとなった。情報教育を担当する私がなぜ教育評価をテーマとするように

### 高田短期大学に入学して



キャリア育成学科  
オフィスワークコース二年  
坂口 萌

入学して一か月が経ちます。遠隔授業が始まり、やっと大学生という実感が湧いてきました。私には二つの目標があります。一つ目は、自己管理のできる学生になることです。二つ目は、もうすぐ社会人になることを自覚し、その準備をしつかりすることです。そのためにも、資格

なったか。大学院では、制御工学を研究領域とし、就職してからはどっぷりと情報処理の世界に浸った。短大に奉職してからは、情報教育に軸足を移り、テクノロジーを教育支援に活用する教育工学分野へと舵をきった。大学院時代に、教育工学の授業を受けた。関連施設でバイトをしたこともあった。短大に勤めてからは、三重大学の学習支援研究会で諸先輩方の指導を受け、総合的な学習の時間の評価やグループワークを取り入れた授業実践や効果的なファシリテーションと評価について共同研究を進めた。そして、シニアパソコン教室などの活動をサービスマーケティングと見立て、ルーブリックを使った評価手法について研究を進めた。それらが今の評価研究に繋がっている。

取得など新しいことにたくさん挑戦したいです。大学で学べることへの感謝の気持ちを忘れず、気を抜かないように頑張ります。高校とは違い授業の空き時間が生じるので、その時間を上手く使えるようにしたいです。今年新型コロナウイルスの影響で通常の大学生活を送れず不安ですが、来年の就職活動を見据えて、今できることを一つずつこなし、高短を選んで良かったと思える生活を送りたいと思います。



## キャリア支援センター

キャリア支援センター長  
生駒 昌之

### キャリア支援センターとは

キャリア支援センターは二号館玄関フロアの横にあります。進路相談や就職活動のサポートを行っています。また、就職や進学に役立つたくさんの資料があります。二年生はもちろん、新入生も気軽に訪ねてください。

### スタッフ紹介

それでは、センター職員八人を写真により紹介します。

まず、左端が元公立幼稚園長で、ピアノなど実技指導に指導力を発揮する堀内由香里先生。次に公務員試験の解説、指導なお任せ、庶務担当の岡晃史先生。その隣が新任の里中久美子先生。高短OGで公立幼稚園・保育園長を歴任、豊富な経験を支援に活かします。その横が新任で前公立高等学校長の生駒です。右隣が野崎千恵先生。CDA国家資格を持つキャリアカウンセラー兼アドバイザーです。その次が小田富彦先生、さらにその隣が佐波睦巳先生です。お二人とも元銀行支店長であり、県内の企業のことを熟知しています。最後が元公立高等学校校長で、保育者希望者が頼りにする九年目の大ベテラン、梶間稔先生です。

## キャリア支援のために

私たちは皆さんに、就職に関する準備や活動をする中で、自分の将来や生き方について考えるとともに、生きるのに必要な力を身につけてほしいと願っています。その上で、一人ひとりに適した就職をと考えています。そしてそのためにスタッフ一同、全力で皆さんをサポートしていきます。

### 【ボランティア活動支援室】

キャリア支援センター東隣の部屋がボランティア活動支援室です。月、水、金曜日には杉谷哲也先生が在室され、アジアの子どもたちへの国際的なサポート等も含めて、皆さんのボランティア活動のお手伝いをしています。来室を待っています！



## 学生相談室



### 【保健室】

富永 玲子

今年度は、皆さんと一緒に新型コロナウイルスウィルス感染症拡大防止のための取り組みを続けていきたいと思えます。いま、毎朝の検温と体調確認を行い記録してもらっていますが、自分の健康状態は、自ら管理をしていくことが大切です。健康チェックの習慣を身につけましょう。

次に、免疫力を高めるためには、十分な睡眠とバランスの良い食事を心がける、が重要です。手洗い、咳エチケット等も重要です。

今後も、大切なお知らせや情報メール等でお知らせしますので、確認して行動してください。また、体調面で心配なことがあれば、いつでも保健室に相談してください。

### 【学生相談室】

短大の保健室は学生相談室の役割もあります。誰でも気軽に相談できるところです。

誰に相談していいかわからないときや短大生活で困ったときには保健室を訪ねてみてください。心や身体のことだけでなく、対人関係や将来のこと、漠然とした不安やちょっとした悩みでも一緒に解決策を考えます。

相談内容によっては、カウンセリング室や適切なサポート先を紹介します。

保健室直通電話

059-2553-7031

## 【カウンセリング室】

橋本 景子

今年度はコロナで大変なことになっています。こういう時にこそ、「自分」というものがよくわかるものです。やたら不安に思う自分があるのか、まったく気にしない自分があるのか等です。二者のうちどちらがいいということではありません。ただ、何かが起こった時、自分というものがどういう人なのか、わかるチャンスだということです。

先日、やたら不安に思う人から連絡がありました。「どうしてもある場所に行きたいのだけれど(彼女にとってそれは必要なこと)、行って、もしコロナになったら職場で生きていけない」という相談でした。そんな時、この人の心の中では「答えが決まっているのです。ただちょっと後押しして欲しいのです。」「不要不急の外出は控えましょう」とありますが、彼女にとっては大切なことなのですから。

少し後押しをしたらその夜、「すっきりしました。コロナ対策はされていたし、行って良かったです。」と連絡がありました。カウンセリングってそういうものなのです。そして、それが次に自分で何かを判断するときの判断材料となっていくのです。

## 外国人留学生支援室

外国人留学生支援室長  
大橋 一喜

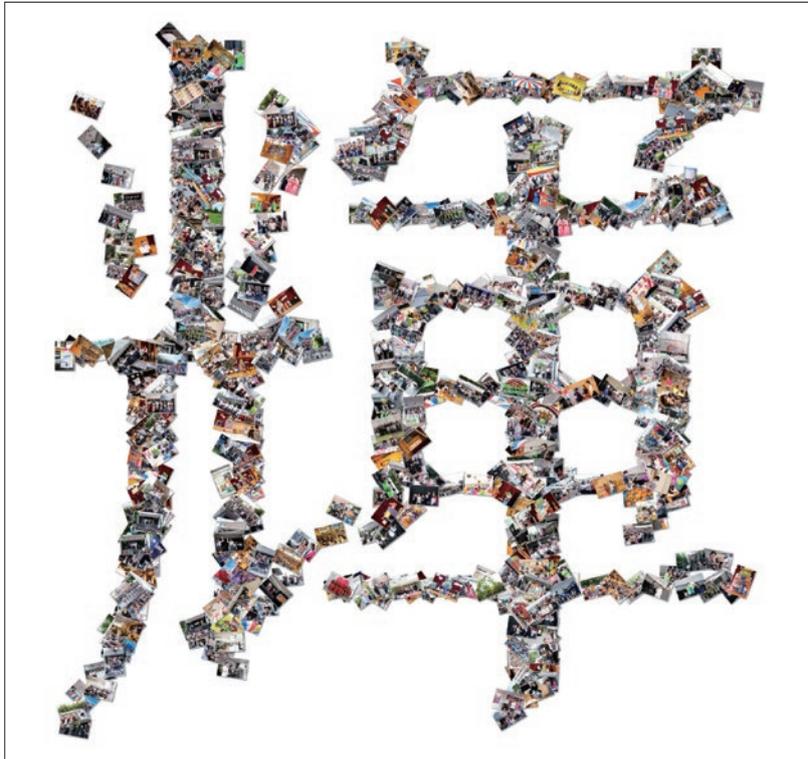
外国人留学生支援室では、留学生の修学だけでなく、生活面など全般的な支援を行っています。留学生の増加に伴い前年の十四名から十六名に「留学生アドバイザー」を増員し、より細かい支援ができる体制となりました。具体的には、アルバイト時間の管理、奨学金の紹介、資格取得のサポート、生活用品の貸与などを行っています。また、定期的な留学生ミーティングを開催し情報交換をしたり、卒業した留学生との交流会を開催し貴重な経験談やアドバイスをもらえる機会となっています。留学生の出身国は、中国、ベトナム、スリランカ、ネパール、フィリピンなど多くの国籍の留学生が在籍しています。また、経験豊かな日本語指導員を配置させていただき、学業の習得支援を行っています。今後とも留学生アドバイザー一丸となり、外国人留学生が有意義な学生生活を過ごせるように努めていきます。



## 学生自治会

こんにちは高田短期大学学生自治会執行委員です。

三月に先輩方が卒業され本格的に自分たちの活動がスタートしましたが、新型コロナウイルスの影響でどれだけ自治会活動ができるかわかりません。みな



さんにはこんな時代でも笑顔と優しさで輝いてほしいと思います、昨年の自治会活動の写真でこの文字を作りました。先輩方から教えていただいた事を活かして学生のみなさんが有意義な短大生活を送れるよう自治会活動に励みたいと考えていますので、ご協力の程よろしくお願いいたします。

## 会長挨拶



キャリア育成学科オフィスワークコース二年生の松谷優希です。私は昨年度からサポートメンバーとして自治会活動に参加してきました。先輩たちの企画した行事に参加した学生の楽しい時間を過ごすことができました。

私たち学生自治会執行委員はこの高田短期大学での学生生活がより充実したものになるよう学校行事を企画・運営しています。四月の新生ガイダンスと五月のTJC祭は新型コロナウイルスの影響で中止になってしまいましたが、学生の皆さんが楽しめるようなイベントを企画しています。



## 活動アルバム

高短祭パフォーマンス大会(十月)  
学生によるダンスや歌で会場を盛り上げてくれました。



TJC祭(五月)  
五人一組でチームを組み参加する運動会です。衣装コンテストもあり、チームで衣装をそろえて参加してくれました。



新年会(一月)  
午前中はドッジビー、お昼はBBQ、午後は宝探しをしました。

## 部活動の紹介

活気とやる気にあふれるクラブ活動

### 女子サッカー部

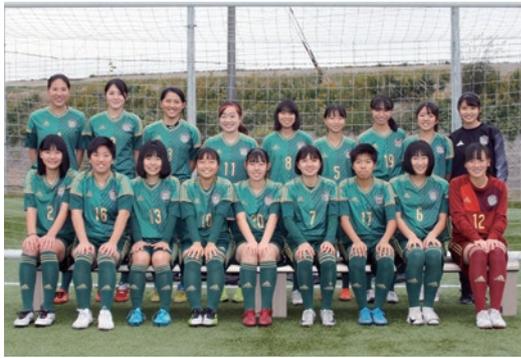


活動五年目にあたり

女子サッカー部監督 宮本 ともみ

高田短期大学女子サッカー部は活動を始めて今年で五年目です。高田高校女子サッカー部と合同で東海Jリーグ Studentリーグに参加し、東海地域の大学や高校との交流や、チーム強化を行っています。

女子サッカーの地位向上に貢献できるよう活動してまいりますので、今後とも女子サッカー部へのご理解ご協力をよろしくお願いたします。



### 吹奏楽部



楽しく演奏活動を

吹奏楽部顧問 佐々木 秀英

高田短期大学吹奏楽部は、主に週二日の練習と学内外での訪問演奏活動を行っています。学内活動ではランチタイムコンサートや大学祭での演奏を、学外では幼稚園・保育園へ訪問し手遊びやダンスなどを交えた演奏会を行っています。老人施設へ訪問し歌謡曲などを演奏するミニコンサートも行うこともあります。

コンクール上位入賞を目指す「音が苦」ではなく、音を楽しむ「音楽」演奏を心がけています。



### 聖歌隊



聖歌隊担当 三室 貴久

聖歌隊は高田短期大学で行なわれる仏教行事(年四回)・入学式卒業式で仏教聖歌を歌い、各行事を厳かで格式の高いものとすることを目的としています。令和元年度卒業式・令和二年度入学式は、コロナウイルス感染症拡大防止のため、大幅に縮小された形で行われました。状況を考えれば仕方がないことではありましたが、聖歌隊の歌声のない式はどこか寂しく、改めて聖歌隊の存在意義を感じることもありました。

私は聖歌隊の担当者ではありませんが、自分自身も合唱や楽器演奏の経験がなく、歌唱指導は子ども学科長の福西先生にお願いしています。聖歌隊のマネージャーとして、隊員たちに助けをもらいながら、勧誘・各種調整や連絡といった裏方としての仕事、いつも学校行事のために歌ってくれている隊員たちに喜んでもらうための企画などを行っています。昨年度二回実施した交流会兼反省会は概ね好評であったため、今年度も実施する予定ですが、どのような内容にすれば隊員たちがより喜んでくれるのかに頭を悩ませています。また、何か企画などの要望があれば、可能な限り応えていきたいとも思っています。

みなさんが高田短期大学で過ごす二年間は、本当に短い時間で、あっという間に過ぎ去ってしまいます。その大切な短い時間の一部を聖歌隊に使って、並びにこれから加わってくれる一年生たちに感謝の気持ちを示すとともに、将来学生時代を思い出したときに、楽しかった思い出の一つとして懐かしんでもらえるよう努力していきたいと思っています。学科・学年拘らず隊員を募集していますので、興味のある方は気軽にお声かけください。



### 図書館メイト

図書館 前田 恵里

図書館メイトは図書館の様々な業務をサポートするボランティアです。本年度は新メンバー五名を迎え、総勢十六名でのスタートとなりました。

図書館メイトは一九九五年に図書館への関心を持ってもらいたいという願いからスタートし、現在に至るまで様々な活動を行ってきました。昨年度は、毎月の企画展示や書架整理、オープンキャンパスに向けた壁面構成、創作作品展のサポート、当館が二年一回発行する「図書館だより」でのおすすり本紹介、選書ツアーなどの活動を行いました。本年度はより一歩踏み込んだ図書館業務を体験してもらうために、受入れ図書「装備」などにも挑戦する予定です。

コロナ禍で心も沈みがちですが、読書は心の栄養補給に最適です。メイトが活動する図書館に是非足を運んでください。



## 仏教教育研究センター

センター長 松山 智道  
当センターは、本学の建学の精神に基づき、仏教文化の護持発展を目的に活動しています。

その活動内容は、まず第一に、毎月一回、研究会を開催しています。現在は、高田派中興の祖である真慧上人が著された『顕正流義鈔』の研究を進めています。

第二には、図書館に寄贈されている貴重な仏教関連図書および資料の整理と管理を行っています。

第三の活動としては、年に二回、「公開講座」を開催しています。地域の方々に仏教に触れていただく機会をご提供することを目的に、高田本山教学部との共催にて真宗高田派本山にて開講し、多くの方が受講されています。



第四の活動は、高田本山寄附講座として、「仏教基礎講座」と「仏教専門講座」を開催しています。現在、「仏教基礎講座」は八月に五日間(毎日五講座)開講し、「仏教専門講座」は毎月一回(一日五講座)で年十回(十一回目が試験日)の講座となっています。両講座とも高田派の教師・布教使養成の講座であるとともに、地域に開放された地域貢献事業としての講座であり、一般の多くの方が受講されています。

特に「仏教専門講座」は文部科学省の「履修証明プログラム」として提供し修了者には学校教育法に基づく履修証明書が交付されるので、受講者の励みとなっています。



## 育児文化研究センター

センター長 青木 信子

本センターは、子どもの教育や福祉、子育て問題、児童文化等に関する研究を行うと共に、地域社会への貢献と連携を展開しています。今年度も地域との協働を大切にしながら特色のある活動を進めています。



### \* 研究活動

定例研究会やグループ研究により学内外の研究員が研究を進めています。その成果は「育児文化研究センター紀要」等により情報発信します。

### \* 地域子育て支援事業

「おやこひろばたかたん」では親子の交流・活動ができる場

を提供しており、親子・子ども同士・親同士がふれあえる楽しく子育てについて互いに学べる場になっています。

※おやこひろば、子育て講座、子育て相談の詳細については本学ホームページをご覧ください。



### \* 学生支援事業

地域の保育・子育て支援活動に参加する「子育て応援隊」や子育て応援サークル「たんたんクラブ」のボランティア学生に対して、実践が学びにつながるよう支援しています。

### \* 地域連携子育て支援事業

地域団体や行政との連携協働による子育て支援活動に参画します。また、津市内の子育て支援者の交流会や研修会、保護者研修会を企画・運営します。

## 図書館



主体的な学習を支援  
図書館長 鷺尾 敦

二十五年程前着任した学長が、就任してまず取り掛かった仕事は、図書館の建設でした。図書館は、高等教育機関の要であるとして、体育館よりも先に着手されました。当時の図書館は旧一号館に図書室程度のものがありませんでした。

図書館が高等教育機関において教員の教育研究はもちろん、学生の主体的な学習の扉であることを、学生の皆さんには改めて考えて欲しいと思います。ネットでいろいろなことが探せる時代ですが、図書館での探求活動によって、自らの学習テーマが広がり、深まっています。

本学の図書館には、ラーニングコモンズと呼ばれる学習空間があります。中心は、グループでディスカッションしてアクティブに学ぶグループワークエリアですが、AVコーナーも見逃せません。

昨年度末から、個人視聴が図書館でできるAV資料の充実を進めています。学習の合間に、優れた作品を視聴してもらいたいと思います。

図書館では、図書館運営を支援する学生ボランティア「図書館メイト」を募集しています。主体的な学習の支援を一緒にしませんか。

## キャリア研究センター

センター長 中畑 裕之  
当センターは地域を支える人材の育成、雇用・労働問題、地域活性化をテーマに調査研究や地域活動を行っています。

### \*研究活動

人材育成、雇用・労働問題、地域社会等に関する研究成果をとりまとめた「キャリア研究センター紀要・年報」第六号を発行しました。

### \*地域活動

津市、百五銀行・百五総合研究所、三重県信用保証協会などと連携協定を結び、協力してセミナーやワークショップの開催、調査研究を行っています。

津市との連携では一身田寺内町の再活性化に関わり、一身田寺内町来訪者調査を学生の参加により実施しています。



百五銀行・百五総合研究所との連携として、「若手社員の採用・育成・定着のためのワークショップ」を開催し、若者の早期離職や雇用のミスマッチ等の改善に資するよう、企業と学生によるデイスカッションを行っています。

また本学卒業生や地域の方々で就業力を高めたい方向けに「就業支援セミナー」として、アークセス、ワード・エクセル、パワーポイントの講座を令和元年度は開催しました。

単独事業では、令和元年度は三重県生涯学習センターの助成を受けシニアプログラミング教室を開催しました。また、クレイム対応基礎講座を行いました。令和二年度も様々な事業を企画しておりますので、お問い合わせください。



## 介護福祉研究センター

センター長 中川 千代

介護福祉研究センターは平成二十六年に開設され今年度で七年目に入りました。地域福祉に寄与する機関として様々な事業を展開していくとともに、介護福祉、高齢者問題、障害者問題等に関する研究活動を進めていきます。本学付属の地域連携施設のなかでは小規模ながら地域の介護・福祉の発展に寄与できるよう活動していきます。

### ◇研究活動

学内外の研究員が研究発表を行う定例研究会を毎月行っています。本センターの中心事業です。卒業生の研究員も増え楽しく学び合っています。また、研究紀要「介護・福祉研究」第六号を三月に刊行しました。



### ◇介護福祉セミナー

本学内で通常年二回開催します。今年度は新型コロナウイルス感染症予防のため予定変更になります。関心をお持ちの方はお問合せください。十二月十二日（土）筋膜リリース／肩こり解消と小顔効果〜を企画しています。一般の方や卒業生が対象です。

### ◇高校生等を対象とした介護福祉啓発活動

高校生や留学生在が対象で市内の特別養護老人ホームを研究員や在学生とともに見学します。

### ◇高齢者を対象とした介護福祉啓発活動

地域の高齢者を対象として本学内や地域公民館等を拠点として介護を学ぶ学生達とともに交流しながら学べる場を提供します。



## 高大教育交流事業

入試広報委員長 山口 昌澄

本学では、平成二十五年度より県内高等学校との高大教育交流事業を進めています。これまで十三の県立高校、高田高校と協定を結んできました。そして昨年は、三重高校と新たに協定締結することとなりました。協定先高校とは、出前講座や本学特別授業等の教育交流に取り組んでいます。また教育交流連絡協議会を年二回開催し、昨年は「高校生にとって魅力的な大学」等のテーマについて意見交換をさせていただきました。そこで賜ったご意見を、今後のより良い本学学生支援や教育活動に活かしていきたいと思えます。

各高校・地域各所での出前講座や職業・進学ガイダンス等の教育交流については、協定校以外のものも含め、昨年度は計百二十九講座を開催しました。

今後の新型コロナウイルスの収束状況も慎重にみていかなければなりません。今年度オンラインキャンペーンを六月十三日（土）、七月十二日（日）、八月九日（日）と二十二日（土）に、高短フェアを来年三月十四日（日）に開催する予定です。

## 退任のあいさつ

前学長 栗原 廣海

三期十二年の長きにわたり高田短期大学学長をつとめさせていただきましたが、本年三月三十一日をもってその任を退かせていただきました。

振り返ってみますと、実に多くの皆さんの支えと協力、励ましが力となつてはじめて過(こ)すことのできた十二年間でした。教育力・研究力に優れ、学生が大好きで、毎日多忙にもかかわらず一生懸命運営に関わつてくださった先生方。明るく元気で仲がよく、高短愛に満ち、教職協働への理解と実践力をそなえた事務職員の方皆さん。そして何よりも、高短が大好きで、地域が求める社会人を目指して一生懸命勉強し、現に大活躍している卒業生の皆さんとそれに向けて現在進行形の学生の皆さん。ほんとうに皆さんのおかげでした。ありがとうございました。今はコロナ禍で大変な苦勞をしておられますが、これをのりこえられた暁には、高短はますますの発展を遂げられるものと信じています。皆さまの、今後のますますのご活躍念じています。

### 《人事》

#### ○退職

学長 栗原 廣海  
 キャリア支援センター 前田 美菜子  
 教務課長 加藤 光博

## 着任のみなさん

笑顔の素敵な  
保育者は最高



子ども学科 古川 久美子

今年度より、子ども学科の特任講師として着任しました。公立保育園で定年まで勤務し、素敵な子どもたちとたくさん出会った「保育士になって本当に良かった」と心から思いました。保育はとてもしゃがみのある仕事です。「やわらか心」を持ち、笑顔の素敵な保育者を目指します。私の経験が、学生の皆さんのお役に立てばと思います。よろしくお願ひします。



キャリア支援のために  
キャリア支援センター長 生駒 昌之

この四月、キャリア支援センターに着任しました。キャリア支援とは、学生の皆さんが主体的に進路を選択するためのサポートをすることだと考えています。自分自身や社会について知り、広い視野と生きるための知識、技能やスキルを身につける。そのためのサポートをと思つています。どうかよろしくお願ひします！

あるかぎり見せたまへ  
図書館 瀬古 幸弘



瀬古 幸弘

この度、中等学校国語科より異動して参りました。

『更級日記』の少女は「物語の多くさぶらふなる、あるかぎり見せたまへ」と葉師仏に祈ります。このような声にお応えしていくのは大変難しいことですが、目指すべき一つの理想像だと思つています。

また書籍だけではなくアジアや欧州の良質なフィルムも揃えていけたら、と思つております。どうぞよろしくお願ひいたします。



一緒に頑張りましょう  
キャリア支援センター 里中 久美子

サポーターとして、お世話になります。

私も高短で様々な事を学んだ後に、公立の園長を十年経験しました。学校の坂を登つてくると、私達を見守つていただいている『親鸞聖人様』、学生の頃とはまた違う思いで「今日も、よろしくお願ひいたします」と、丁寧な気持ちでお辞儀をしています。学生の皆さんの一日一日を大切に、私なりに何かお手伝いできれば幸いです。

気持ちを新たに  
教務・学生課 大川 翔平



大川 翔平

今年度から教務課・学生課に配属となりました大川です。短期大学総務課で三年間、その後学苑本部にて五年間勤務し、再び短期大学に戻ってきました。学生の皆さんと直接接する業務は今回が初めてとなりますが、これまでの経験を活かし、頼りになる職員として学生の皆様のお役に立てるよう頑張りますのでよろしくお願ひいたします。



新鮮な気持ちで  
図書館 前田 恵里

前田 恵里

留学生支援室兼図書館に配属となりました前田と申します。大学等で国際交流、主に留学生支援に携わつて参りました。その経験を活かし、皆様のお役に立てればと考えております。外国人の増加を感じる昨今です。様々な背景を持つ人々と共に生きる、おらかで「やわらか心」を持つ人材を育成するお手伝いのできればと考えています。



## 同窓会の近況

北端 一子

同窓会の役員は、退職者や現役で働いてみえる人達で構成されています。年齢の差があり、話が合わない時もあります。高田短大を思う気持ちは一緒です。現役の方は、仕事の都合によって参加出来ず、役員を降りる方、出産や結婚によって離れる方も見えます。新しく役員になっていただけると、とても助かります。新しい風を感じるからです。人によって考え方が違うからこそ続けていけるのではないかと思います。

今年、コロナウイルスによって役員会が中止になり、高短祭もどうなるか分かりませんが、早く終息に向かつていく事を願わずにはいられません。終息に近づいてきたら、高短祭があると思ひます。その時は、ぜひ見に来て下さいね。



# 卒業生からのメッセージ

## 「憧れの幼稚園教諭になって」



子ども学科  
令和元年度卒  
落合 春陽

① 宜真学園第一さくら幼稚園② 一人ひとりの子どもが見せてくれる様々な表情や行動が可愛くて面白くて、その成長に関われる毎日が嬉しいのです。周りの先生方も優しく指導してくださり、恵まれた環境で働けることに感謝しています。③ 子どもの気持ちに寄り添い、言葉や行動の裏側にある思いも汲み取れる保育者、保護者や職場からも信頼される保育者を目指します。④ 学生の「一生懸命」を応援してくださる先生方に出会えた場所。かけていただいた言葉やアドバイスを、笑顔にとでも励まされ頑張ることができました。同じ目標をもつ仲間と学生生活を楽しみながら、実習や試験勉強など辛い時に支え合うこともできました。⑤ 夢の実現のために必要なこととどどんとチャレンジしてください。保育者を目指す方は、手遊びやピアノ、すきま時間にも子どもと楽しめる遊びなど、沢山の引き出しを作っておくこともお勧めします。

## 「社会人としての一歩」



キャリア育成学科  
オフィスワークコース  
令和元年度卒  
森田 真由

① 百五銀行② 嬉しかったことは同期の仲間と出会えたことです。共有し合える仲間がいるととても心強く感じます。銀行では覚える業務の量が多く、難しさや不安を感じることはありませんが、一から丁寧に教えていただけるので充実した日々を送れています。③ 「あなたでなければ」と必要とされる行員になることです。お客様に安心してご利用いただけるよう、任された業務を丁寧かつ迅速にこなせるよう一杯頑張ります。④ 自分自身がスキルアップできた場所です。専門的知識やビジネスマナーが学べたことはもちろん、友達や親身になって話を聞いて下さる先生方と出会えたことで、以前より積極的に行動できるようになりました。⑤ 二年間は短く感じますが、その中で挑戦してみたことがあれば失敗を恐れず、積極的に行動してみてください。その経験は自分の自信や成長に繋がると思っています。

## 「更なるスキルアップを目指して」



キャリア育成学科  
介護福祉コース  
令和元年度卒  
祝 彩菜

① 聖十字看護専門学校② 私は高短で介護福祉士免許を取得し、更なるスキルアップを目指し進学しました。現在は新型コロナウイルスの影響により授業を受けることが出来ず、自宅で課題に取り組んでいます。ようやく看護の勉強が始まるので、初心を忘れずに頑張ります。③ 利用者さんの生活を支える介護、患者さんの健康を支える看護、この両方のスキルを持つって看護業務に役立てていきたいと思っています。④ 現在取り組んでいる課題の中には、高短で学んだ内容や、技術としてすでに身に付いているものもあり、この二年間で学んだことに無駄なものはないと改めて実感し、感謝しています。⑤ 二年間は本当にあっという間です。その中で自分がやりたいと思うことを見つけ、それに向けて一生懸命頑張ってください。先生方は必ず力になってくれます。自分を支えてくれる先生方や友達を大切にしたい。残りの学生生活を楽しんで下さい。

- ① 勤務先・進学先
- ② 就職して嬉しかったこと、辛かったこと
- ③ 将来の夢
- ④ 高田短大とは
- ⑤ 後輩へのメッセージ

**公告** 令和元年度における学校法人高田学苑の決算は次のとおりですので、当学苑寄附行為第40条の規定に基づき公告いたします。

貸借対照表 (令和2年3月31日)

学校法人 高田学苑 (単位: 円)

資産の部				負債の部			
科目	本年度末	前年度末	増減	科目	本年度末	前年度末	増減
<b>固定資産</b>	(8,305,175,465)	(8,630,259,210)	(△325,083,745)	<b>固定負債</b>	(257,329,216)	(449,063,468)	(△191,734,252)
有形 固定 資産	(6,722,055,532)	(7,001,998,255)	(△279,942,723)	長期借入金	0	199,999,999	△199,999,999
土地	1,025,122,922	1,025,122,922	0	退職給与引当金	257,329,216	249,063,469	8,265,747
建物	4,478,632,892	4,674,605,702	(△195,972,810)	<b>流動負債</b>	(605,556,891)	1,118,489,081	(△512,932,190)
構築物	826,896,520	896,009,349	(△69,112,829)	短期借入金	199,999,999	199,999,999	0
教育研究用機器備品	124,952,866	137,687,060	(△12,734,194)	未払金	38,272,705	538,086,128	(△499,813,423)
管理用機器備品	7,393,511	8,992,294	(△1,598,783)	前受金	279,165,000	286,588,000	(△7,423,000)
図書	227,204,113	225,685,192	1,518,921	預り金	25,355,465	28,886,386	(△3,530,921)
車輛	1,933,230	3,976,258	(△2,043,028)	修学旅行費預り金	56,652,172	59,028,168	(△2,375,996)
学苑林	29,919,478	29,919,478	0	卒業諸費預り金	6,111,550	5,900,400	211,150
<b>特定資産</b>	(1,488,769,005)	(1,530,597,198)	(△41,828,193)	<b>負債の部合計</b>	(862,886,107)	(1,567,552,549)	(△704,666,442)
退職給与引当特定資産	262,490,000	312,490,000	(△50,000,000)	<b>純資産の部</b>			
施設設備補充引当特定資産	1,226,279,005	1,218,107,198	8,171,807	科目	本年度末	前年度末	増減
その他の固定資産	(94,350,928)	(97,663,757)	(△3,312,829)	基本金	(12,654,353,423)	(12,342,913,064)	(311,440,359)
借地権	2,257,500	2,257,500	0	第1号 基本金	12,482,353,423	12,170,913,064	311,440,359
電話加入権	1,285,980	1,285,980	0	第4号 基本金	172,000,000	172,000,000	0
施設利用権	355,950	427,140	(△71,190)	繰越収支差額	(△4,760,033,773)	(△4,340,976,245)	(△419,057,528)
ソフトウェア	547,560	972,000	(△424,440)	翌年度繰越収支差額	△4,760,033,773	△4,340,976,245	△419,057,528
有価証券	80,070,136	80,070,136	0	<b>純資産の部合計</b>	(7,894,319,650)	(8,001,936,819)	(△107,617,169)
差し入れ保証金	350,000	350,000	0	<b>負債及び純資産の部合計</b>	(8,757,205,757)	(9,569,489,368)	(△812,283,611)
長期前払金	9,483,802	12,301,001	(△2,817,199)				
<b>流動資産</b>	(452,030,292)	(939,230,158)	(△487,199,866)				
現金預金	303,677,842	750,692,652	(△447,014,810)				
未収入金	55,097,116	92,835,540	(△37,738,424)				
前払金	242,712	274,296	(△31,584)				
立替金	30,248,900	30,499,102	(△250,202)				
修学旅行費預り資産	56,652,172	59,028,168	(△2,375,996)				
卒業諸費預り資産	6,111,550	5,900,400	211,150				
<b>資産の部合計</b>	(8,757,205,757)	(9,569,489,368)	(△812,283,611)				

就職先等一覧

子ども学科

- ◆私立保育園
  - あかつき保育園、あけの保育園、伊勢けいゆう塾保育園、いそやま保育園、内部ハートピア保育園、海のうた保育園、中川園、嬉野保育園、大里保育園、尾鷲第二保育園、上浜保育園、川崎愛児園、神戸保育園、くすのき保育園、久保保育園、さくら保育園、志登茂保育園、第一しまの杜保育園、第二長太の浦保育園、第二はなこま保育園、たけすい保育園、高田保育園、多気の杜ゆたか園、たけのこ保育園、つくし第二保育園、つまちなか保育園、豊野保育園、ドリームハウス保育園、長太の浦保育園、西浦保育園、野町保育園、ハートピア保育園、パティスポーツ幼児園、田谷園(千歳台園舎)、はなこま保育園、東大淀保育園、久居保育園、ひばり保育園、ひまわり保育園、船江保育園、三重保育園、みそら保育園、みやま保育園、ゆい保育園、ゆめのみ保育園、わかすき第三保育園、若葉保育園
- ◆私立幼稚園
  - エンゼル幼稚園、第さくら幼稚園、第二さくら幼稚園、高田幼稚園、津西幼稚園、まさば幼稚園、みずきが丘道伯幼稚園
- ◆私立こども園
  - 暁の星こども園、石薬師認定こども園、亀山愛児園、こどもの杜ゆたか園、修道こども園、第二明和ゆたか園、高岡ほろりん認定こども園、津カトリックこども園、中島こども園、認定こども園青山よさみ幼稚園、認定こども園松操保育園、認定こども園明和ゆたか園、NOBENOこども園、藤水保育園、みらいの森ゆたか園、ゆたかこども園ゆたか認定こども園、ルーテル二葉認定こども園、和順幼稚園
- ◆認可外保育施設
  - 森の風ようちえん

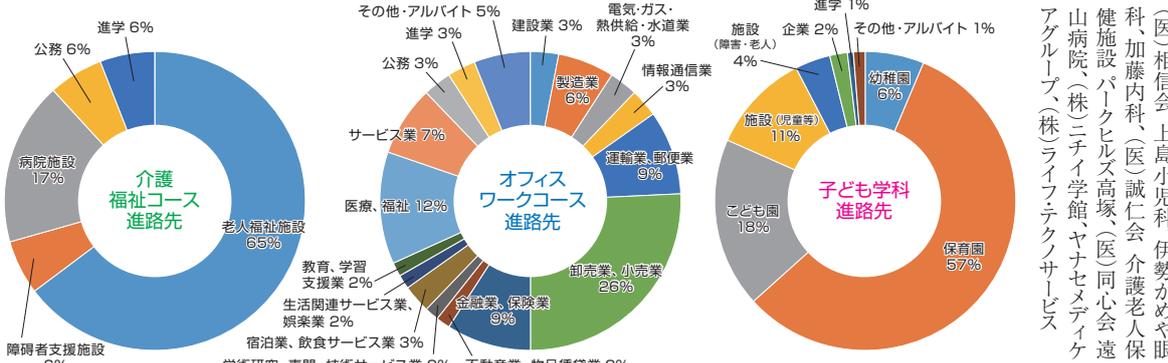
公立保育園

- ◆公立保育園
  - 伊勢市立五峰保育園、伊勢市立浜郷保育所、川越町立北部保育園、菰野町立菰野幼稚園、菰野東保育園、志摩市立鶴方保育所、鈴鹿市立神戸保育所、鈴鹿市立河曲保育所、玉城町立有田保育所、玉立町立丸尾保育所、玉城町立外城田保育所、津市立上野保育園、津市乙部保育園、津市北口保育園、津市橋南保育園、鳥羽市立安楽島保育園、松阪市立駅前田保育園、松阪市立大河内保育園、松阪市立春日保育園、松阪市立白鳩保育園、松阪市立花園保育園、松阪市立ひかり保育園、松阪市立三雲南保育園、松阪市立みなみ保育園、松阪市立若草保育園、四日市市立下野中央保育園、度会町立長原保育所
- ◆公立保育園(臨時)
  - 大台町立日進保育園、鈴鹿市立西条保育所、鈴鹿市立牧田保育所、大紀町立大宮保育園、津市川合保育園、松阪市立大津保育園、松阪市立三雲北保育園
- ◆公立幼稚園
  - 鳥羽市立かもめ幼稚園、松阪市立中川幼稚園
- ◆公立こども園
  - 大台町立三瀬谷認定こども園、松阪市立飯南たんぼぼこども園
- ◆公立こども園(臨時)
  - 伊勢市立しこうこども園、津市芸濃こども園、松阪市立飯南ひまわりこども園
- ◆施設
  - エッセランス四日市、大田区立ひまわり苑、子ども子育てサポートセンターまなび舎、里山学院、真盛学園、鈴鹿里山学院、鈴鹿和順学園、聖母の家、聖マツチヤ子供の家、ソレイユキッズ津、聖の家、まもり苑、みどり自由学園、八楽児童寮、和進館児童ホーム
- ◆企業
  - (株)ウエルシア、(株)おやつカンパニー、全国共済農業協同組合連合会、三重県本部

進学

- ◆進学
  - 大阪教育大学
- ◆キャリア育成学科(オフィスワークコース)
  - ◆建設業
    - アルコ(株)
  - ◆製造業
    - 小橋電機(株)、木村工機(株)、パイロットインキ(株)
  - ◆電気ガス
    - 朝日ガスエナジー(株)、東海メンテナンス(株)
  - ◆情報通信
    - トランスシスティコンピュータサービス(株)、(株)ミニエテックシステムソリューション
  - ◆運輸業・郵便業
    - 大王運輸(株)、鈴鹿インター(株)、(株)日本陸送、(株)橋本商事冷凍輸送
  - ◆卸小売業
    - アストラック(株)、イリオスネット(株)、(株)エイワ機工、(株)スズキ自販三重、(株)戸田医科器械店、ネットヨタ三重株、(株)ハヤシ自動車、(株)ホンダユーザーテック、三重いすゞ自動車(株)、三重トヨタ自動車(株)、三重トヨペット(株)、(株)ミツイバウマテリアル
  - ◆金融・保険業
    - 全国共済農業協同組合連合会三重県本部、(株)第三銀行、(株)百五銀行、(株)三重銀行
  - ◆不動産業、物品賃貸業
    - (株)トヨタレンタリース三重
  - ◆学術研究・技術サービス
    - 社会保険労務士法人 伊勢労務管理事務所
  - ◆宿泊業、飲食サービス業
    - K・F・O・D・S(株)、(株)三交イン
  - ◆生活関連サービス業、娯楽業
    - TBCグループ(株)
  - ◆教育、学習支援業
    - 大阪自動車学校

医療福祉



サービス業

- ◆サービス業
  - (株)アクアプランネット、アゼット(株)、イセツト(株)、(公財)地域医療振興協会、三重県立志摩病院、(株)パソナック
- ◆公務
  - 志摩市臨時職員(事務職)、自衛官候補生
- ◆進学
  - 鈴鹿大学、日本デザイナー芸術学院名古屋校
- ◆キャリア育成学科(介護福祉コース)
  - ◆老人福祉施設
    - (社福)ウエルハート厚生会、(社福)永甲会、(医)紀南会、(社福)聖隷福祉事業団、(社福)洗心福祉会、(社福)白鳳会、(株)ライフテックノサービス
  - ◆障害者支援施設
    - (社福)サンフラワークラブ
  - ◆病院施設
    - 富田浜病院グループ、ヤナセメディアケアグループ
  - ◆公務
    - 自衛官候補生
  - ◆進学
    - 聖十字看護専門学校

編集後記

皆様のご協力によりまして、高田短期大学通信第五十五号発行の運びとなりました。今号は、コロナウイルス感染拡大防止のための休校措置中の原稿執筆依頼となりました。通常の授業や行事が行えない中での依頼で、ご苦労をおかけしたことをお詫び申し上げます。心より感謝申し上げます。

※「高田短期大学通信」題字デザインは、キャリア育成学科オフィスワークコース卒業生の平井南穂さんの応募作品を元に作成しました。